

平成20年度第2次新まちづくり計画施策進行調書

政策目標	2	主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街	
重点課題	3	札幌らしい新産業の育成と企業の誘致	
主な取組内容			
19年度(実績)		20年度(予定)	
施策1	札幌の都市イメージを活用した産業の振興	<p>北海道の食や観光などの様々な情報を国内外に発信する拠点機能を強化するため、民間主体の運営による北海道産品を取り扱うアンテナショップ設置に向け、設置場所等の調査や運営事業者の選定等を実施。</p> <p>引き続きスイーツコンペティション等を実施するほか、「スイーツ王国さっぽろ推進協議会」の事務局体制の強化を図り、参加企業増加のための活動を実施。また、「さっぽろオータムスイーツファンタジー」は今年度から新たに開催される「さっぽろオータムフェスト2008」と同時期に開催予定。</p> <p>地元農産物の見本市(スイーツマルシェ)を年2回程度、開催予定</p> <p>札幌スタイルのブランドイメージを戦略的にプロデュースする戦略会議を開催し、新しい認証制度を構築の上、札幌スタイルの認証を実施。また、札幌スタイルの発信拠点であるギャラリーを移転し、JRタワーにデザインショップとして設置し、札幌スタイルの認知度向上と認証商品の販路拡大を支援</p>	
施策2	IT・コンテンツ・バイオなどの新産業の育成・拡大	<p>ものづくり(印刷業)及びバイオ分野において、首都圏企業と市内企業とのマッチングを実施</p> <p>平成19年7月にIT・バイオ産業のビジネスマッチングを横浜で、平成20年1月神戸・大阪においてバイオ産業のビジネスマッチングを開催(3会場の来場者数 500名超)</p> <p>クリエイティブ commons の普及等を議論する国際会議「アイコモンズサミット2008」の誘致、「創造都市さっぽろ」の考え方を視覚的に表すVI(Visual Identity)策定</p> <p>ショートフィルム等のコンテンツを年間通じて取引が行える「さっぽろコンテンツマーケット」の構築に向けた調査を実施。</p> <p>若手クリエイター育成として首都圏の映画制作会社ヘインターン派遣等を実施</p> <p>ITアーキテクトやプロジェクトマネージャーといった高度IT人材の育成、首都圏発注側企業と市内IT企業とのビジネスマッチング・コーディネート等を実施。</p> <p>新産業・新技術の事業化支援として、2件の案件を支援した(「サーモンオバリーペプチド第2世代の開発」、「環境に配慮した地域ブランド紙石鱈」の製品化)</p> <p>新産業の育成等を目的とした北大R&Bパーク推進協議会に参画し、大学の研究開発等を事業化するための支援(3件)を実施</p> <p>「国際競争力のあるバイオクラスターの形成」を目的に、文部科学省から「知的クラスター創成事業(第 期)」の採択を受け、北大を中心とした研究開発を促進</p>	
施策3	札幌の優位性を活かした企業の誘致	<p>IT・コンテンツ・バイオ産業の誘致のため、企業訪問、展示会への出展(2回)等の誘致事業を実施し、2社を誘致した。</p> <p>コールセンター、ニュービジネスの立地促進のため、企業訪問、展示会への出展(4回)等の誘致事業を実施し、コールセンター4社を誘致した</p> <p>札幌市障がい者コールセンター就労支援ネットワーク会議の開催により企業と意見・情報交換を行うとともに「障がい者向けコールセンター研修」を実施</p> <p>IT・コンテンツ・バイオ産業誘致のため、引き続き首都圏で開催される展示会への出展(2回)等の誘致事業を展開し、5社の新規誘致を目指す。</p> <p>コールセンター・ニュービジネスの誘致事業を引き続き実施し、5社の新規事業所開設を目指す。</p>	

平成20年度第2次新まちづくり計画施策進行調書

政策目標	2	主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街
重点課題	3	札幌らしい新産業の育成と企業の誘致
評価(成果)		課題
施策1 札幌の都市イメージを活用した産業の振興		
<p>スイーツ王国さっぽろ推進協議会の他の構成団体と一体となった取り組みを行うことで「スイーツの街・さっぽろ」の実現、さらには食関連産業の活性化に貢献している。</p> <p>さっぽろオータムスイーツファンタジーでは、19年度に初めて開催されたにもかかわらず、3日間で27,000人の来場者があり、好評であった。</p> <p>札幌スタイル推進事業により、異業種間の企業連携等をきっかけとして、札幌の都市イメージやデザインを活用した新たな商品が道内外で流通し、売上げを順調に伸ばしているなどの成功事例が複数生まれ、地域経済の活性化につながる動きとなっている。</p>	<p>「札幌の都市イメージを活用した産業の振興」という観点では、北海道の食資源を活用した「札幌の食」などを都市ブランドとして確立し、競争力のある外需獲得型産業へ育成することが課題である。</p>	
施策2 IT・コンテンツ・バイオなどの新産業の育成・拡大		
<p>高度人材の育成に資する研修等では、企業のニーズに合ったメニューを取り揃え、短期のものを提供するなど技術者が受講しやすい工夫を行い、18年度に比較してより多くの受講生を確保することができ、市内IT企業の技術力向上に寄与できた。</p> <p>創造都市さっぽろの推進の起爆剤となることが期待できるアイコモンズ・サミットの誘致に成功し、同会議の開催やその後の普及活動を通じて、映像や音楽のコンテンツ産業の振興が期待できる。</p> <p>バイオ産業における日本有数の市場である関東・関西地域と連携して、市内バイオ関連企業に商談の場を提供することで、市内企業の利益に資することができた。</p>	<p>「IT・コンテンツ・バイオなどの新産業の育成・拡大」という観点では、利益率の低い3次受け、4次受けの受託業務が主となっている市内の受託型企業が、より大型で、より利益率の高い業務を受注できる支援を強力に進めていく必要がある。また、大学研究成果活用推進事業などにより、北大を中心に活発化している研究開発を事業化・製品化へ結び付けることが大きな課題であり、開発型企業に対する魅力ある製品化の支援とともに、販路開拓等における支援を展開していく必要がある。</p>	
施策3 札幌の優位性を活かした企業の誘致		
<p>IT・コンテンツ・バイオ産業の誘致については平成19年度の誘致企業数の達成目標は3社であったが、事業開始初年度だったこともあり実績は2社であった。平成20年度は既に4社を補助金交付指定済みであり、平成20年度末までに累計で7社を誘致する目標は達成される見込みとなっており、安定した雇用の創出が期待できる。</p> <p>コールセンター・ニュービジネスの誘致については、平成19年度で4社が新たに札幌に立地したことに伴い、雇用の改善や市税収入の増加等、地域経済の活性化が図られた。</p>	<p>「札幌の優位性を活かした企業の誘致」という観点では、多くの自治体が地域特性を活かした企業誘致を進めていることから、他都市との差別化を図った企業誘致施策を進めていく必要がある。</p>	
今後の重点取組		
<p>生産や加工、販路開拓の各過程における支援事業間の連携が希薄であることから、今後は培ってきたネットワークや情報等を積極的に活用しつつ、連携の取れた事業を展開することで、生産から販路開拓までの総合的な支援施策を確立し、競争力のある外需型産業の育成を目指す。</p> <p>また、「札幌の食」のブランドを確立するために、企業が参画するメリットを明確に打ち出しながら、より多くの市内企業の参画を促していく。</p> <p>利益率の高い案件や大型の案件を受注するための仕組みづくりを進めるため、首都圏企業等とのマッチングの強化を図るとともに、受託に頼らない、より利益率の高い自社開発型企業への転換を見据えた支援プロセスの検討を早急を実施する。</p> <p>また、事業化・新製品開発を推進するために関係機関と連携しつつ、支援を強化するとともに、事業化・新製品開発、さらには販路拡大のために行政の持つネットワークを活用して、産業分野を超えた有機的な連携をコーディネートしていく。</p> <p>進出予定企業等のニーズを的確に把握しながら、支援策の充実を図るとともに、将来を見据えて本市の優位性を活かした企業誘致施策を検討していく。</p>		

平成20年度第2次新まちづくり計画施策進行調書

政策目標	2	主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街
重点課題	3	札幌らしい新産業の育成と企業の誘致

成果指標等の動向

項目1	スイーツ王国さっぽろ推進協議会への参画会員数(単位:件)	項目2	札幌スタイル認証製品数(単位:件)																
<table border="1"> <tr><th>年次</th><th>数値</th></tr> <tr><td>H18 (現状値)</td><td>85</td></tr> <tr><td>H19 (実績)</td><td>130</td></tr> <tr><td>H22 (目標値)</td><td>170</td></tr> </table>		年次	数値	H18 (現状値)	85	H19 (実績)	130	H22 (目標値)	170	<table border="1"> <tr><th>年次</th><th>数値</th></tr> <tr><td>H18 (現状値)</td><td>56</td></tr> <tr><td>H19 (実績)</td><td>56</td></tr> <tr><td>H22 (目標値)</td><td>100</td></tr> </table>		年次	数値	H18 (現状値)	56	H19 (実績)	56	H22 (目標値)	100
年次	数値																		
H18 (現状値)	85																		
H19 (実績)	130																		
H22 (目標値)	170																		
年次	数値																		
H18 (現状値)	56																		
H19 (実績)	56																		
H22 (目標値)	100																		
<table border="1"> <tr><th>年次</th><th>数値</th></tr> <tr><td>H18 (現状値)</td><td>1,500</td></tr> <tr><td>H19 (実績)</td><td>3,850</td></tr> <tr><td>H22 (目標値)</td><td>10,000</td></tr> </table>		年次	数値	H18 (現状値)	1,500	H19 (実績)	3,850	H22 (目標値)	10,000	<table border="1"> <tr><th>年次</th><th>数値</th></tr> <tr><td>H18 (現状値)</td><td>821</td></tr> <tr><td>H19 (実績)</td><td>852</td></tr> <tr><td>H22 (目標値)</td><td>1,000</td></tr> </table>		年次	数値	H18 (現状値)	821	H19 (実績)	852	H22 (目標値)	1,000
年次	数値																		
H18 (現状値)	1,500																		
H19 (実績)	3,850																		
H22 (目標値)	10,000																		
年次	数値																		
H18 (現状値)	821																		
H19 (実績)	852																		
H22 (目標値)	1,000																		
<table border="1"> <tr><th>年次</th><th>数値</th></tr> <tr><td>H18 (現状値)</td><td>39</td></tr> <tr><td>H19 (実績)</td><td>45</td></tr> <tr><td>H22 (目標値)</td><td>75</td></tr> </table>		年次	数値	H18 (現状値)	39	H19 (実績)	45	H22 (目標値)	75	<table border="1"> <tr><th>年次</th><th>数値</th></tr> <tr><td>H18 (現状値)</td><td></td></tr> <tr><td>H19 (実績)</td><td></td></tr> <tr><td>H22 (目標値)</td><td></td></tr> </table>		年次	数値	H18 (現状値)		H19 (実績)		H22 (目標値)	
年次	数値																		
H18 (現状値)	39																		
H19 (実績)	45																		
H22 (目標値)	75																		
年次	数値																		
H18 (現状値)																			
H19 (実績)																			
H22 (目標値)																			

成果指標等から見た重点課題の評価

「スイーツ王国さっぽろ推進協議会への参画会員数(項目1)、札幌スタイル認証製品数(項目2)」はともに札幌の都市イメージを活用した産業の振興に関する指標である。項目1については、順調に会員数が増加してきており、「札幌の食」のブランド確立に寄与していると評価でき、今後は企業が参画するメリットを明確に打ち出しながら、より多くの市内企業の参画を促していく。また、項目2については、平成19年度は産学官の有識者による札幌スタイル・デザイン会議を開催し、今後の中長期的な方向性をまとめる年としたことから、新たに札幌スタイルの認証を行わなかった。平成20年度は新たな認証制度を構築し、札幌スタイルの認証を行なっていく。

「取引可能な映像作品等の集積本数(項目3)」については、札幌国際短編映画祭が例年、好評を博していることもあり、本市に集積する作品(コンテンツ)が順調に増加している。平成20年度には年間を通じて取引のできる「さっぽろコンテンツマーケット」を開設することから、今後もコンテンツ産業における商取引の活性化が期待できる。

「大学の共同研究・受託研究実績(項目4)」については、文部科学省から採択を受けた「知的クラスター創成事業(第期)」や「北大BI(ビジネス・インキュベーション)」の開設等により、実績が伸びていくことが予想される。今後はその研究実績を事業化・製品化にいかにつなげ、新産業の育成・拡大を支援していくかが課題である。

「IT・コンテンツ・バイオ企業及びコールセンター・ニュービジネスの誘致数(項目5)」については、順調に誘致数を伸ばしており、平成20年度においてもIT・コンテンツ・バイオ企業では既に4社を補助金交付指定済みであることから、今後も誘致数の増加により市税収入の増加、安定した雇用の創出が期待でき、地域経済の活性化に寄与していると評価している。引き続き、「札幌らしい新産業の育成と企業の誘致」を推進し、平成22年度の計画目標に向け、注力していく。